

琉球・沖縄 年中行事 **Q&A** ?-なんでも!

シーサーの置き方／  
「ンス・マース」について



●Answer  
沖縄市・コザ山 球陽寺 前任職  
帰依 龍照(きえりゅうしょう)

**Q** 主人の友人でシーサーを作っている方から、シーサーをたくさんいただきました。すでに門には飾っていますが、屋根には置いていません。また、室内にもオブジェ風に置いていますが、屋外に出さないといけないでしょうか? 魔除けの意味も教えてください。

(長男嫁さん・69歳)

**A** 魔除けとは、魔性のものに近づけないことを指し、またそのために用いる呪い物のことをいいます。沖縄の代表的な魔除けのひとつが、シーサーであると考えられています。

シーサーの起源は、エジプトのスフィンクスや中国の石獅子といわれます。守護獣である獅子を沖縄の言葉で発音したのが、シーサーの語源だとされています。(諸説あります)。

シーサーは、仏教の「阿吽(あうん)思想」の影響からか、口の開いたものを雄と見なして右側に置き、口を閉じた方を雌と見なして左側に置く風習があります。また、あるシーサー職人さんのお話では、伏せたシーサーは屋内に、背の高いシーサーなら門柱などの屋外に置くのがおすすめのこととす(伏せたシーサー

には、その姿勢を意味する「ホーヤー」という名称もあるそうです)。

これについても諸説あるようですが、外からやってくる邪気をはらうという意味から、シーサーの顔は外に向けたほうがよいと言われることもあります。今、室内に置かれているシーサーも、顔を入り口に向ける方がいいかと思えます。ご主人のご友人からいただいた大切なシーサーを、これからも大事にしてあげてくださいね。

**Q** 自宅を新築し、近々引っ越します。母から「家具を入れる前にンス・マースを台所に置きなさい」といわれました。でも、もう先に家具の一部を入れてしまいました。どうしましょう(汗)。

(名護市Hさん)

**A** Hさん、それはお困りですね。お母さんがおっしゃるのは、住宅を新築したり購入した際、引っ越しの前に、台所にンス(味噌)とマース(塩)を置いて引っ越しの御願を、家族の健康・繁栄などを願うという沖縄の風習でしょう(ミース・マースとも言います)。家庭によっては、お酒などを追加することもあるようです。

地域によって考え方は異なりますが、味噌は、幸福の種まきの代表である穀物の象徴として、塩は、お清めの象徴として、お供えされることとす。一般的には、家具を入れる前にンス・マースをお供えするのが理想ですが、さまざまな事情でやむをえず家具を先に入れてしまったときは、

屋敷の神様にティーウサー(合掌)し、自分の言葉でその旨を報告するといよいです。

ンスについては、「容器に入れたままでも大丈夫ですか?」とか「ウサンデーしたら、翌朝の味噌汁に使用しても大丈夫ですか?」などと、しばしば質問されま

す。お供え物ですので、容器から出すことが理想的ですが、諸事情があるようでしたら、そのままでも差し支えないかと思えます。もちろん、ウサンデー(お下げ)して、いただくことはとても素晴らしいことですので、お味噌汁などで、おいしく召し上がってください。

Hさん、家具とンス・マースの順番の件、初めて耳にされたときには驚かれたでしょう。でもね、大丈夫。知らなかったのですから。「思い立ったが吉日」という言葉もあるように、今から丁寧に準備されたら、家族皆さんの心に残る、素晴らしい引っ越しになること

「家具を入れる前に、ンス・マースを置きなさいね〜」



「きゃー。もう、家具を入れてしまったのに……」



知らなかったことをきちんと謝れば、だいじょうぶよ〜



イラスト：帰依ひろ子

帰依 龍照 1968年岡山県出身(満48歳)／学歴：岡山大学大学院博士課程単位取得・中央仏教学院研究科卒／専門分野：哲学(宗教哲学)／沖縄県内で年間多数の住宅起工式(地鎮祭)を担当しつつ、小学校〜大学まで、いじめ・不登校・進学・就職に関する講演活動を行う／著書：『琉球・沖縄 儀式・法要事典 作法・心得編』県内有名書店にて発売中／最近、長男に住職の家督を譲り、前任職(ぜんじゅうしょく)のご隠居さんになりました

【質問をお寄せください】 年中行事やしきたりに関して、日ごろから疑問に思っていることや、質問をお寄せください。随時、紙面で紹介する予定です。「かふう編集室 年中行事Q&A係」郵送、FAX、メールで受付。宛先は22面をご覧ください。